

インドネシア・コトパンジャン・ダム裁判 1 審の不当判決  
に怒る原告(2010年9月10日、東京地裁前) ↓



東電設計本店前にて、福島原発事故の責任を追及  
するフィリピン・バタンガス港湾 ODA 事業被害者 ↑

## 第2回 ODA を問う

# 国際連帯シンポジウム in Osaka

7月28日(土)14:30~ エルおおさか

- 日本のODAによって被害を被った人々は、アジアを中心に世界各国に多数存在します。しかし、彼らは、時の自国軍事政権の圧政の前に異議を唱えることすらできず、強制移住などを強いられてきました。しかし、日本政府は、こうした人々の声に耳を傾けるどころか、「援助」の建前もかなぐり捨てて、グローバル資本の利益のために ODA を利用する「国益」ODA 路線をひた走っています。日本政府は、3月9日、「2011年版政府開発援助白書」を発表し、「日本再生・復興を支える力強い経済成長への貢献のために途上国支援を活用する」と震災復興を名目に「国益」ODA 路線を一層進めることを宣言し、『原発輸出』をも狙って「パッケージ型インフラ輸出」に積極的に ODA を拠出していくことを明らかにしています。さらに、4月27日の米軍再編見直し中間報告においては、ODA を使って巡視艇をフィリピンなどに供与することを挙げており、まさに武器輸出にも使おうとしています。
- 昨年の「ODA を問う国際連帯シンポジウム」を踏まえて、「国益」ODA に反対する国際ネットワークをつくることを目指して『第2回 ODA を問う国際連帯シンポジウム』を7月28日に開催します。数万人規模で取り組まれているインドのクダングラム原発建設反対運動も報告します。ぜひ、シンポジウムにご参加ください。
- シンポジウム成功のための賛同・カンパをお願いいたします。

### 第2回 ODA を問う国際連帯シンポジウム

- 7月28日(土)14時30分~
- 会場:エルおおさか(大阪府中央区 右図参照)
- テーマ1:「国益」ODA に反対する
- テーマ2:原発輸出 STOP

連絡先: コトパンジャン・ダム被害者住民を支援する会  
三ツ林(Tel:090-8382-9487、Email:YFA64193@nifty.com)

